

社会福祉法人恩賜財団愛知県同胞援護会

SDGsの取組

取組・活動内容	<p>社会福祉法人恩賜財団愛知県同胞援護会は「利用者の立場に立った良質な福祉サービスを提供するとともに、地域住民との交流・連携を図り、開かれた法人運営に努める」ことを法人の理念として、高齢者・障がい者・児童福祉に関する様々な課題に対して、SDGsの視点を踏まえて取り組んでまいります。</p>		
	目指すゴール	取組・活動内容とゴールとの関係	目標
	経済 8	<p>1 育児短時間勤務制度を設けるなど人事制度の改善などによる職員満足度の向上</p> <p>2 託児所の拡充</p>	<p>1 職員満足度（全55項目平均） 66%（2022年）→80%（2027年）</p> <p>2 託児所（企業連携含む）設置数 3か所（2022年）→6か所（2025年）</p>
	社会 3, 4, 10, 11	<p>1 外国人介護士の受入れ拡大</p> <p>2 地域住民と連携した防災訓練の実施</p>	<p>1 特定技能制度による外国人介護士の受入れ人数累計 13名（2023年3月時点）→32名（2026年3月）</p> <p>2 合同防災訓練実施拠点数 1拠点（2022年）→全10拠点（2027年）</p>
環境 13	<p>1 記録・計画書管理の電子化などICT推進による紙の使用量の削減</p> <p>2 照明機器のLED化推進によるCO2の削減</p>	<p>1 2026年3月までに、紙の使用量を10%削減（2023年3月比）</p> <p>2 LED化済み拠点数 5拠点（2022年）→全10拠点（2027年）</p>	